

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

実社会で活躍するためには、自分で物を見、自分で判断する 葛西 敬之 (JR東海、代表取締役名誉会長)

1. リーダーシップには創造力が必要です。人間の世の中ですから、他人の気持ちや様々な情報に対する繊細な感受性も不可欠でしょう。これはマニュアルで教われば分かるというものではなく、原体験みたいな人間関係があつて、それで自然と身についていくものです。兄弟や友人との日常生活の中での原体験があり、それを小説や歴史、伝記を読んで膨らませていく。体験は自分の時間でしかありませんが、読書によって他人の時間を取り込むことができるのです。
2. 今はそうした時間がなくて、決まったレッスンごとにマスターしていきます。確かに知識は身に付くかもしれませんが、それが自分の行動に結びつくのでしょうか。IT (情報技術) の発達で情報は効率的に集められるようになってきているので、ますます人間関係は希薄になっています。例えば、東京大学に入る学生は、激しい競争を乗り越えなければならないので、それなりの知識レベルを持ち、素質もいいと思います。ただし実社会と学生時代に住んでいる世界との間には大きな溝があります。
3. 実社会で活躍するためには、自分で物を見て、自分で判断する。自分で進路を決めて、その責任を自分で取るという生き方に切り替えなくてははいけません。リーダーシップは教育で作ることはできません。リーダーとして育つための潜在的素養を与えるのが教育なのです。

(参考:「日経ビジネス」2018年3月5日号)

経営者のため理念・哲学

「本気 本腰 本物」

1. 坂村真民さんに次の詩がある。
この道はあきることはない あきる道は本物
ではない この仕事はあきることはない あ
きる仕事は本物ではない
2. 坂村真民さんのたくさんある詩の中から一つだけ選べといわれたら、この詩を選ぶ。「本気 本腰 本物」。片足だけ水の中に入れ、私は本気、と言っている人が多い。本気とは体全体を水の中に投じることであり、もう逃げられないという所に身を置くことである。すると、本腰が入る。本腰を入れるから、真の力が出てくる。そして、その姿勢を何十年も続けることで本物になる、ということでしょう。

(参考:「致知」:2018年4月号)

人事・労務について

挑戦しない社員は不要 (ソニー)

1. 人生 100 年時代。生涯現役で働き続けるには会社員時代からの準備が不可欠だ。中高年でも今の立場に安住したくはない。社内のフリー・エージェント (FA) 制度を導入し、そんな意欲的な社員に再挑戦の機会を与えているのがソニーだ。高評価で3年以上同一部署に在籍する社員を対象に会社が FA 権を付与。対象社員が「FA 宣言」すると、各事業部との「お見合い」の場が設けられる。
2. 今年 1 月からは 50 歳以上の社員を対象に、必要なスキルを身に付けるための費用の上限を 10 万円まで補助する制度が導入された。「挑戦しない社員はソニーにいらぬ。定年まであと何年と指折り数えるのではなく、定年まで学び続けてほしい」という。

(参考:「週刊東洋経済」2018年2月24日号)

古典に学ぶ

武士は経世済民を主眼

(解説) 徳川時代の末路でも、困窮のしからしむるところ。一般の商工業者に対する教育と武士教育とは全く区別されておいたのである。しかして武士は皆修身齊家^{しゅうしんせいけ}を本としてただ自己一身を修めるのみでなく他をも治めるといふ主義で、すべて経世済民^{けいせいさいみん}を主眼としておった。

(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」) 国書刊行会